

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	神経内科学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	普通教室
担 当 教 員	齋藤 潤	実務経験とその関連資格	医師として島根県立中央病院、独立行政法人国立病院機構鳥取医療センターにて勤務			
《授業科目における学習内容》						
<p>総論で構造機能、症候学を大まかに理解する。 各論で、主要な神経疾患を理解する。 神経系の構造機能と、それぞれの障害により生じる症状を理解し、説明ができる。 主要な神経疾患の病態、障害部位とその症状を理解し、説明ができる。 それに対するリハビリテーションをどのようにすべきかを考察する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
前後期ともに中間試験・学期末試験を行う。講義での学習態度・反応(10%)・中間試験(20%)の成績を配点に加味する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
病気がみえるvol.7脳・神経 第2版、ベッドサイドの神経の診かた						
《授業外における学習方法》						
教科書での予習、授業の復習						
《履修に当たっての留意点》						
実習で困らない程度の脳神経内科の知識をつけていただきたい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の全体像と大脳の構造を理解する。	指定テキスト		(事前学習) シラバスを読む(30分) (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	脳神経内科学の概要、神経系の構造と機能(1)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	大脳、間脳、脳幹、小脳などの構造や機能について理解する。	指定テキスト		(事前学習) 教科書での予習(30分) :神経構造 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経系の構造と機能(2)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	病歴の取り方、問診の順序、主要症候の問診の要点などについて理解する。	指定テキスト		(事前学習) 教科書での予習(30分) :神経学的診察 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	病歴聴取、神経学的診察(1)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経学的診察に必要な器具、診察方法、診察所見の記録などについて理解する。	指定テキスト		(事前学習) 教科書での予習(30分) :神経学的診察 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経学的診察(2)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経検査方法について理解する。	指定テキスト		(事前学習) 教科書での予習(30分) :神経学的検査 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経学的検査法(1)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経検査方法について理解する。	指定テキスト	(事前学習) 教科書での予習(30分) :神経学的検査 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経学的検査法(2)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診の要領、意識障害程度の記載、注意点などについて理解する。	指定テキスト	(事前学習) 教科書での予習(30分) :意識障害 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経症候学(1) 意識障害		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	診断の進め方、運動麻痺の部位と原因診断などについて理解する。	指定テキスト	(事前学習) 教科書での予習(30分) :運動麻痺 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経症候学(2) 運動麻痺		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	不整脈、肺性心、大動脈疾患、末梢血管疾患について理解する事ができる。	指定テキスト	(事前学習) 試験勉強(30分) (事後学習) 中間試験復習(30分)
		各コマにおける授業予定	中間試験		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	錐体外路徴候および錐体外路系疾患の診断などについて理解する。	指定テキスト	(事前学習) 教科書での予習(30分) :錐体外路 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経症候学(3) 錐体外路徴候		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動失調の分類・見分け方・検査方法などについて理解する。	指定テキスト	(事前学習) 教科書での予習(30分) :運動失調 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経症候学(4) 運動失調		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚障害の診かた、感覚解離、原因的診断の進め方などについて理解する。	指定テキスト	(事前学習) 教科書での予習(30分) :感覚障害 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経症候学(5) 感覚障害		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語障害の種類、構音障害の診断の進め方、失語症の検査方法や注意事項などについて理解する。	指定テキスト	(事前学習) 教科書での予習(30分) :失語・失行・失認 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経症候学(6) 失語症、失行、失認		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	さまざまな高次脳機能障害の病態やリハビリテーションを含む対応などについて理解する。	指定テキスト	(事前学習) 教科書での予習(30分) :記憶・注意・遂行機能 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	神経症候学(1) 記憶、注意、遂行機能		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	球麻痺や仮性球麻痺による構音障害や嚥下障害の違いなどについて理解する。	指定テキスト	(事前学習) 教科書での予習(30分) :構音・嚥下 (事後学習) 授業の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	構音、嚥下		